

JCI 神奈川ブロック 横須賀大会

「神奈川ひとつをつなぐフォーラム」 生徒会参加活動報告書

(JCIはジュニア チャンバー インターナショナル ジャパン=日本青年会議所の略称です)

日 時：9月7日(土) 9:45～11:10

場 所：横須賀文化会館 大ホール

参加者：2年 石田 三浦彩 1年 野村 三浦果 堀 他校生2名

報告者：1年 堀 文仁

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 参加の理由と目的

- ①. フォーラムの参加者として、自分の意見をしっかりと持ち、発言できる
- ②. 他者より依頼され設定された舞台であっても、自分たちのスタンスで臨める
- ②. 対話から、社会の課題、問題点を見出す力を身につける

◆ 活動内容

私たちは、JCI 関東地区神奈川ブロック横須賀委大会より依頼を受けまして9月7日に行われた「神奈川ひとつをつなぐフォーラム」に参加いたしました。内容は本校で夏休みに特進コースが主体で行いました「よすか・ゆめ・みらい」での発言をそのままぶつけてよいとのことでした。ですが5日前の打合せで知らされた内容は「日本江戸しぐさ協会」の代表理事 山内あやりさんに自分たちの考えたことや感じたことをぶつけ、山内さんが、江戸時代のコミュニティではどのように解決したかを話して頂くというものでした。この参加依頼は、特進コースに話があったのですが、彼らは土曜授業があるため、生徒会がその穴を埋めることになり参加が決まりました。時間制限のあるなかで、それぞれが準備した内容の半分も出すことはできませんでしたが、江戸時代のコミュニティという別の角度から物を見るということに新鮮さがありました。また、文化会館のステージという大きな舞台に登壇して発言することは、とても貴重な体験でした。



司会の露木麻土香さん、「江戸しぐさ」山内あやりさんと参加者

◆ まとめと感想

JCIとは junior chamber international Japan の略称で日本青年会議所のことです。神奈川県では「かながわハイスクール議会」を主宰する団体で、日本の各都市の商工業、サービス業を担う若手経営者、自営業者の団体として知られています。そのJCIの大会が横須賀で行われ、その一つのイベントとして行われたのが今回の「神奈川県とひとをつなぐフォーラム」です。

このフォーラムとは、「広場」を表す言葉です。その意味はフォーラム ディスカッションの略で「公開討論」です。

つまり、討論の内容を多くの人に見てもらい、考えてもらうことがねらいになります。

したがって、参加した5名がそれぞれ課題を持って臨みました。2年の三浦先輩が「人権・LGBT」について、同じく石田先輩が「教育格差」の問題、1年の三浦さんが「自然破壊と閑居保全」について、野村さんが「農業振興と後継者」の問題でした。そして、私は現代社会で問題となっている「生活習慣病」についてでした。山内あやりさんは、「江戸時代は、西欧諸国に比べ医療は発展途上だったが、予防に関しては、住民同士の繋がりを大事にし、食事を三食バランスよく食べていたので生活習慣病に関してはあまり問題がなかった。」というものでした。それを聞いて「住民同士のつながり」や「三食バランス良く食べる」ことが現代ではできていない人が多く、その部分から見直すべきだ、と思いました。これは私の感想ですが、参加した全員がそれぞれそう思ったのではないのでしょうか。

なかなかない貴重な体験が出来て良かったです。これからも積極的にこうしたイベントに出られるよう頑張っていきたいと考えています。



露木さん(MC)と山内さん(コメンター)

記：生徒会1年 堀 文仁

本来なら上級生を主体に臨むべきでしょうが、人数や、
内容が判明したのが当日の5日前でした。3年生は進路活
動を優先すべきだということで、2年生2名、1年生3名
の5名で参加することになりました。

フォーラムというのも初めてでした。